

団体名

南城市立大里南幼稚園

TEL：945-2827

nakamoto00378@city.nanjo.okinawa.jp

## 知・徳・体の調和のとれた幼児の育成

### 1 実践内容

教育目標・重点目標・学級目標を関連させ、PDCAサイクルに基づいた保育の実践

(1) 人の話をよく聞き、自分の思いや考えを言葉で表現できる子（知）

- ① 園内の自然環境を整え、様々な感動体験を通して、自分の思いや考えを表現する
- ② 絵本の読み聞かせや貸し出しを充実させ、絵本大好きな子の育成。

(2) 友達との関わりを深め、思いやりのある子の育成（徳）

- ① 幼児との信頼関係を築き、肯定的な言葉かけをし、温かな学級作りをする。
- ② 友達と目的をもち、協力して遊びを進める楽しさを味わう。（協同性を育む）

(3) 心と体を十分に動かし、見通しをもって行動する子の育成（体）

- ① 好きな遊びが十分にできる時間や場を保障する。② 地域の方や小学生を招き憧れをもつ。
- ③ 毎日の遊びを振り返り、明日の遊びに期待がもてるようにする。

(4) 基本的な生活習慣の身についた子の育成

- ① 「生活リズムカード」で家庭と連携し、早寝・早起き・朝ごはんなどの生活リズムを整える。
- ② 気持ちのよいあいさつ・遊んだ後の片づけ・身の周りのことなど自分でできることを進んでする。

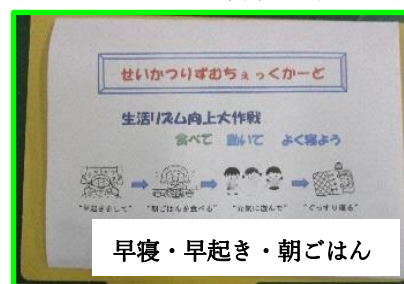
(5) 園内研修を充実させ、PDCAサイクルに基づいた、保育の実践。

### 2 説明資料

(1) ○園内の自然環境の充実 ○発見したことなど言葉で表現 (2) ○信頼関係を築く



(3) ○好きな遊びを十分楽しむ (4) 基本的な生活習慣の育成 (5) 園内研で共通理解を図る



### 3 成果（☆）と課題・改善策（○）

☆教育課程を全職員で共通理解し、期ごとに保育を振り返り、見直したことで保育が充実した。

☆教師が幼児との信頼関係を築き、幼児が好きな遊びを通して自己発揮することで、互いに認め合う仲間関係ができ、様々な感情体験によって、自分の思いや考えを表現するようになった。

☆地域の方や小学生を園に招き、三味線やこま・けん玉を披露してもらったことで幼児が憧れをもち、何度も何度も繰り返し遊び、遊びが深まった。

○幼児が遊び込み、行事を自分達で進めるために、見通しをもった取り組みや援助の工夫が必要。